



那賀防火管理協議会会報

第 37 号

編集・発行 那賀防火管理協議会
事務局 (那賀消防組合内)

那賀消防組合業務開始40周年記念式典 平成27年度防災ひとづくり事業入賞者表彰式典 開催



(式典会場)

12月5日、紀の川市粉河、粉河ふるさとセンターに於いて、那賀消防組合、中芝管理者様(岩出市長)、中村副管理者様(紀の川市長)がご出席のもと多くの御来賓・関係者のご臨席し盛大に開催されました。消防組合は、昭和50年に業務を開始してから40年と記念すべき年を迎え平成17年には、「那賀郡消防組合」から「那賀消防組合」に名称を改め現在に至っています。

式典では、那賀消防組合中芝正幸管理者様から「消防職員が一致団結し、災害に強い安全・安心に暮らせるまちづくりに向け、最大限の努力をしていく」と式辞が述べられました。

「感謝状を受領」



また、消防組合業務開始40周年にあたり、消防組合に対して功績があった団体及び個人に中芝消防組合管理者様から感謝状が授与され、当協議会も長年の活動実績が高く評価され北田会長に感謝状が授与されました。

防災ひとづくり事業入賞者表彰式では、「救急標語の部」「防火・防災・救急ポスターの部」「消防車・救急車写真画の部」「子ども防災博士意見発表の部」各部門で表彰がありました。

救急標語には、2,767点の募集があり、標語審査委員会による厳正なる審査の結果、那賀防火管理協議会の会員様も多数表彰を受けました。今回入選された方々は次のとおりです。



(最優秀賞を受賞)

【秀作】
「覚えよう 命の架け橋 AED」
医療法人彌栄会
介護老人保健施設やよい苑
河知 誠人

(以下事業所名・氏名のみ紹介)
【佳作】
▼バンドー化学株式会社和歌山工場
加藤八千代・鍵 洋介▼和歌山
ノークヨー食品工業株式会社桃山工
場 田中邦彦▼医療法人彌栄会やよ
いメデイカルクリニック 脇田洋子
▼医療法人殿田会殿田胃腸肛門病院
(やすらぎ苑) 西端礼子▼医療法人
彌栄会介護老人保健施設やよい苑
森岡寿世▼岩出市役所 室谷成輝

【入選】

▼パナソニックグループA I S 社三
洋電機株式会社二次電池事業部和歌
山工場 鶴谷利奈・(堀口産業) 小
林祐子・川崎和美▼紀の川市役所
早田夏凜・井辺将文▼バンドー化学
株式会社和歌山工場 辻本貴英・土
井育人▼和歌山ノークヨー食品工業
株式会社桃山工場 田村嘉章▼医療
法人彌栄会介護老人保健施設やよい
苑 尾上達也▼岩出市(上岩出保育
所) 高松千珠・正木理恵(山崎保育
所)・大館有紀(根来保育所) 中曾
なぎさ
以上(敬称省略)

【最優秀賞】
「救命は 身近なあなたの
勇気から」
岩出市役所(根来保育所)
梶本 委津代

【優秀賞】

「応急手当 学んでつなぐ 尊い命」
パナソニックグループA I S 社
三洋電機株式会社
二次電池事業部 和歌山工場
池田 智哉

この1年を振り返って

四月

▼第1回理事会を開催

4月28日、那賀消防組合消防本部において、第1回理事会を開催しました。



(第1回理事会)

五月

▼定期総会を開催

5月29日、岩出市宮ホテルいとうにおいて、平成27年度定期総会が開催され室谷那賀振興局長様はじめ、中芝岩出市長様のご臨席のもと盛大に開催されました。

出席者は、会員39事業所から44人、参与及び事務局を併せ60人が出席し、議事審議



(定期総会)

は、全て原案どおり承認されました。併せて会員事業所における防火管理の重要性を深く認識し、当協議会が主催する自主防災に関する事業活動に積極的に参加されたことにより、その活動は他の模範となった事業所にその功績をたたえ平成26年度優良団体表彰が北田会長から行われました。



(優良会員表彰)

受賞者

北広ケミカル株式会社

桃山工場 様

また、当協議会副会長であった日本ピローブロック株式会社和歌山工場が平成26年12月20日付けで脱会されたことにより、後任の新役員（理事）に当協議活動に積極的に取り組まれている、紀の川市長田中、株式会社メイワ様が総会において選任されました。なお、平成28年1月1日現在の役員は次の通りです。

防火管理協議会役員名

会長 ホテルいとう

取締役支配人 北田 信幸

副会長 医療法人共栄会 名手病院

事務局長 笠松 正志

副会長 紀和化学工業株式会社 貴志川工場

貴志川工場長 岩本 康良

監事 社会福祉法人皆楽園

居室介護サービス事業部長 林 知規

監事 株式会社台和 和歌山工場

総務担当 駒阪 康典

理事 パナソニックグループ A I S 社

三洋電機(株)二次電池事業部和歌山工場

理事 和歌山地区担当部長 田中 均

理事 コカ・コーラウエスト

理事 セールスサポート株式会社

理事 担当課長 山中 崇央

理事 紀の川市役所

理事 総務課長 柏木 健司

理事 デュプロ精工株式会社

製造部門テクニカルマネージャー 田村 健

理事 株式会社メイワ

総務グループマネージャー 岡 徳治

理事 バンドー化学株式会社 和歌山工場

工場長 谷口 登志治

理事 和歌山ノークヨー食品工業(株)

理事 桃山工場 工場長 欽初 展弘

理事 医療法人殿田会 殿田胃腸肛門病院

理事 事務局長 米田 直史

理事 医療法人富田会 富田病院

理事 事務局長 楠山 隆也

理事 岩出市役所

理事 総務部次長 藤平 光夫

(平成27年7月1日現在)

また、特別講演では、那賀消防組合消防本部通信指令課、課長 廣田 隆様に「和歌山広域消防指令センターの概要について」講演を頂きました。

那賀消防組合は、昭和50年10月の業務開始以来、紀の川市・岩出市の119番通報での火災・救急等は、消防本部の通信指令課で受付していましたが、平成27年4月1日からは、「和歌山広域消防指令センター」で受付しています。

和歌山県の北西部の和歌山市消防局、海南市消防本部、紀美野町消防本部、那賀消防組合の4市1町からの119番通報を和歌山市消防局内に設置する「和歌山広域消防指令センター」で受付し、消防車や救急車の出動指令及び無線統制などを各消防本部から派遣された職員が共同で行い、業務の効率化及び各消防本部との連携、情報共有が可能となり、町境界で発生した災害などでも素早い対応が図られるようになりました。廣田様には、私達協議会のため大変お忙しい中、御講演頂き有難う御座いました。



(特別講演)

六月

▼消防組合防災ひとづくり事業の標語への応募協力（那賀消防組合業務開始40周年記念式典及び防災ひとづくり事業入賞者表彰式典については、12月5日・6日、紀の川市粉河ふるさとセンターで実施）
（別 載）

七月

▼第2回理事会を開催
7月13日、那賀消防組合消防本部において、第2回理事会を開催しました。

八月

▼普通救命講習会
8月27日・28日の午前午後の計4回、那賀消防組合消防本部においてAEDを使用しての普通救命講習会を開催しました。
（22事業所から68人が参加）



（普通救命講習会）

九月

▼会員視察研修
9月2日
・近畿大学水産研究所

（西牟婁郡白浜町 白浜実験場
東牟婁郡串本町 大島実験場）

・串本町消防本部
（東牟婁郡串本町サンゴ台）
（別 載）

十一月

▼秋季火災予防運動に伴う実施要綱作成
秋季火災予防運動期間中（11月9日から11月15日）事業所の実践活動の取り組みとして火災予防運動中の実施要綱を作成しました。
（67事業所で実施）

▼第3回理事会を開催

11月17日、那賀消防組合消防本部において、第3回理事会を開催しました。

▼平成27年度第8回紀の川市

防災総合訓練へ参加



（紀の川市防災総合訓練）

11月22日、紀の川市桃山町段、桃山グラウンドに於いて、第8回紀の川市防災総合訓練に参加しました。

この訓練は、災害対策基本法及び紀の川市地域防災計画に基づき、防災関係機関及び地域住民との緊密な連携のもと、地域住民が即活用できる実践的な訓練を重点に実施し、防災活動の技術の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的に実施されました。

傷病者の手当てや搬送など応急救護・クラッシュ症候群等の学習及び初期消火の重要性を学び消火栓の取扱いと放水訓練・消火器の取扱い・バケツリレーの方法（体験）を学びました。
（13事業所から32人が参加）

▼第14回消防操法大会開催

11月27日、紀の川市花野、打田若もの広場で第14回消防操法大会を開催し会員27事業所から44チーム106人が参加して日頃の訓練の成果を披露しました。
（別 載）

一月

▼那賀消防組合消防出初式に参加

1月11日、紀の川市桃山町段、桃山グラウンドにおいて那賀消防組合消防出初式に参加しました。

第一部式典では、中芝消防組合管理者様から「安全・安心を確保するため災害に強いまちづくりを目指す」と挨拶がありました。退場行進（部隊観閲）には、婦人防火クラブ・自主防災組織・消防職員と当協議会から会員23事業所109人の自衛消防隊が行進しました。第二部式典では、紀の

川市立打田中学校吹奏楽部による演奏披露・安楽川保育園の幼年消防クラブ員による防火演技及び消防職員による救助技術訓練・放水訓練を披露し士気を高めました。



（消防出初式）

二月

▼春季火災予防運動に伴う実施要綱作成
春季火災予防運動期間中（3月1日から3月7日）事業所の実践活動の取り組みとして火災予防運動中の実施要綱を作成しました。
（63事業所で実施）

三月

▼地震災害時の救出・救護訓練会

3月10日、紀の川市花野、紀ノ川河川敷グラウンドにおいて、地震により倒壊した建物内の要救助者を救出する救出・救護訓練会を開催しました。
（別 載）

▼会報第37号発刊

会報第37号を会員事業及び関係機関等へ500部発刊しました。

会員視察研修を実施

9月2日、岩出市を午前8時に出発し一路西牟婁郡白浜町へと向かいました。今回の視察は、「近畿大学水産研究所」(白浜実験場・大島実験場)と「串本町消防本部」での研修です。参加は、会員事業所・参加及び事務局含め24人が参加しました。

会員視察研修行程	
8:00 岩出市出発	9:35 ~ 10:35 → 近畿大学 (白浜実験所) →
11:50 ~ 12:40 潮岬観光丸(昼食)	13:00 ~ 4:10 → 近畿大学 (大島実験場) (チャーター船にて生簀のマグロ見学)
14:30 ~ 15:40 → 串本町消防本部	19:00 → 休憩 → 岩出市着 (とれとれ市場)



「近畿大学水産研究所」では、近畿大学が2002年に世界で初めて成功したクロマグロの完全養殖、1970年に研究を開始してからの32年の歳月をかけて成功しました。「世界初! マグロの王者・クロマグロの



(串本町消防本部にて)

完全養殖成功!」「人工孵化から育った親魚が産んだ卵を再び孵化させることをいう」ニユースが配信されたらとあって県内は沸き上がりました。既に、ほとんどの魚で成功している完全養殖「あとはマグロのみ」と、研究者なら皆が狙っていた最後の大作でした。また、串本町大島では、実際に行われている完全養殖の様子をチャーター船にて生簀のマグロを見学させて頂き、卵から陸上水

槽で40日後後飼育した稚魚は、海上の網生簀に移動してさらに大きく育て、約3~4年かけて育て、体重が30~60kgに成長したマグロの一部を食用に出荷し、一部はさらに産卵用の親魚として育てていました。



(串本町消防本部にて)

なお、本研修につきましては、近畿大学生物理工学の口添えもあり現実となりました。お礼を申し上げます。ありがとうございました。

「串本町消防本部」では、近い将来に必ず発生する東南海・南海地震による津波から地域住民の命を守るため、行政、地域、住民が一体となつて、逃げる対策(ソフト対策)と避難を助ける対策(ハード対策)の双方を効果的に実施し、住民の理解と協力のもとに津波に強い串本町を目指しています。



平成24年12月に津波対策として庁舎をサンゴ台(海拔24メートル)に移転し、1階には、消防車や救急車などの車庫、署員の仮眠室が12室(女性専用部屋1室)、食糧や水などの災害用備蓄倉庫、住民が一時避難する21畳の和室及びトレーニング室などがあり、階段にはバッテリーで動く「いす式階段昇降機」を備えてあります。2階には消防本部と消防署の事務室、通信指令室、防災研修室は災害時に町の対策本部となり、屋外には県内の消防署で初めての自家給油施設があり、ガソリン6千リットル、軽油4千リットルを備蓄していました。



(串本町消防本部にて)

また、旧庁舎にはなかった3階建てと5階建ての訓練塔も建設され、串本町消防本部は、串本消防署と古座消防署、古座川町の七川分駐所があり、災害時には対策本部を設け初期活動を担い、緊急避難所にもなる消防本部で職員数は61人の消防署の視察研修でした。最後に、道中、事故も無く参加頂いた会員の皆様にも満足頂き、有意義な研修だったと思います。

第14回消防操法大会



(北田会長あいさつ)

11月27日、紀の川市花野、打田若もの広場で第14回消防操法大会を開催し会員27事業所から44チーム106人が参加して日頃の訓練の成果を披露しました。

消防操法大会も今年で第14回を迎え、会員事業所における火災予防の徹底と、防火思想の高揚及び初期消火技術の錬磨により職場内防火体制の確立を図ると共に、会員事業所間の親睦を深め、協議会の連携意識を高めることを目的に実施しております。

開会式では、北田会長から「各会員事業所の初期消火技術を競い合うこの消防操法大会は、那賀防火管理協議会の恒例行事として定着しており、消火技術も回を重ねるごとに向上していることは大変喜ばしい限りであり、訓練で鍛えた技術と精神を十分に発揮して優秀な成績を収めて頂きたい」と挨拶がありました。

また、競技開始にあたり、昨年度各種目1位の代表チーム（屋内消火栓操法2号栓の部）バンドー化学株

式会社和歌山工場から優勝トロフィーが大会顧問、中芝消防組合管理者に返還され、選手宣誓を参加106人を代表し、屋外消火栓操法の部で指揮者を務める和歌山ノークヨー食品工業（株）桃山工場、小林静華さんが、那賀防火管理協議会の目的である「私たちの職場は、私たちが守る」の自主防火精神にのっとり、持てる力を一杯発揮することを誓いますと力強い宣誓がありました。



(選手宣誓)

当日は、大変風が強く選手の間は操法に苦戦しながらも機敏な行動で迫力がある大会でした。屋内消火栓操法1号消火栓の部・同2号消火栓の部・消火器操法の部・屋外消火栓操法の部の四種目に分かれて日頃の訓練で鍛えた消火技術を競い質の高い競技が続出しました。



(1号消火栓)



(審査風景)

成績は競技形式を採用していますので順位が付きましたが、各チーム共々、僅差で優秀付けがたく、審査員の方々も大変苦勞されたことと思います。

御参加いただきました選手の皆様や応援に来られた各事業所の皆様、関係者各位、長時間にわたり、御苦勞様でした。入賞された各チームの皆様、おめでとうございます。また、借しくも入賞されなかった皆様には、一生懸命競技に取り組む姿を拝見して、大変頼もしく思いました。「私たちの職場は、私たちが守る」という崇高な精神を忘れず、各種災害の防止に平素から取り組み、職場や家庭での防火対策の徹底をお願いしたいと思います。



(消火器操法)



(表彰式)

以下入賞者は次のとおりです。

(1号消火栓操法の部)

第1位 岩出市役所

第2位 近畿大学生物理工学部

第3位 パナソニックグループA I S社
三洋電機(株)二次電池事業部
和歌山工場

(2号消火栓操法の部)

特別賞 近畿大学生物理工学部

(消火器操法の部)

第1位 医療法人彌栄会

第2位 医療法人彌栄会
介護老人保健施設やよい苑

(屋外消火栓操法の部)

第1位 和歌山バス那賀株式会社

第2位 社会福祉法人皆楽園

第3位 岩出市役所

(特別賞)

特別賞 ホテルいとう

(屋内消火栓操法の部)

第1位 社会福祉法人和歌山つくし会
和歌山つくし医療・福祉センター

第2位 岩出市役所

第3位 和歌山ノークヨー食品工業(株)

特別賞 デュプロ精工株式会社

桃山工場

和歌山工場

特別賞 デュプロ精工株式会社

